

【基本目標1】 魅力ある仕事をつくる ～茅野市で働く～

資料2

数値目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
◆ 市内事業所就業者数 (24,300人(H31))	23,552人 (H24)	23,698人				
◆ 新規創業者数 (5年間で95人)	17人	16人				

1 既存企業の育成と企業立地等による産業基盤整備

(1) 販路開拓への支援

◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市内中小企業の展示会・見本市等への出展数(30件/年(H31))	26件	22件				
具体的な事業 交 受注及び販路開拓支援事業	実績:補助金交付件数 22件 成果:受注につながった件数 91件(11社) 改革・改善策 展示会・工業メッセへ参加した企業に展示会での成果等(受発注の販路開拓)をヒアリングし、フォローアップすることで、新規受注契約の拡大を目指す。					

(2) 新分野進出・独自製品開発への支援

◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
新技術・新製品研究開発件数(10件/年(H31))	7件	8件				
縄文に関連した商品開発件数(2件/年(H31))	1件	5件				
具体的な事業 交 新技術・新製品研究開発支援事業	実績:補助金申請件数 9件 成果:補助金交付件数 8件 改革・改善策 茅野市工業振興ビジョンにより、重点事業に位置付けられ、補助率・補助限度額の見直し等により、多くの市内中小企業者に利用していただいた実績を踏まえるとともに、大学等との産学連携によって、新技術・新製品の開発に取り組めるようPRを行う。					
具体的な事業 縄文関連商品開発支援事業	実績:審査会開催数 1回、補助金交付件数 5件 成果:補助金申請件数 5件、開発された商品数 5個 改革・改善策 縄文文化に関連した新商品の開発支援、事業PRはもとより、開発した商品の販売ルート、販路開拓の支援を検討する。					
具体的な事業 新商品開発支援補助事業	実績:審査会開催数 0回、交付件数 0件 成果:申請件数 0件、商品数 0個 改革・改善策 地域資源を活用した新商品がより多く開発されるよう、商工会議所とも連携し、効果的な事業PRを行い申請件数を増やす。					

(3) 企業立地等の促進による産業基盤の強化							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
中小企業振興補助件数 (15件/年 (H31))		10件	8件				
具体的な事業	中小企業振興補助金制度事業	実績:補助金申請件数 8件					
		成果:補助金交付件数 8件					
		改革・改善策 企業の設備投資を支援する施策はほかにはないため、継続して事業を行う。また、支援内容の周知方法を検討し実施する。					
具体的な事業	コンサルティング助成事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 【検討中】 補助対象経費、補助率等大枠はまとまっているが、条例化するのか新たに要綱を制定するかについて、検討している。					
具体的な事業	観光宿泊施設改装事業補助金交付事業	実績:補助員申請件数 5件					
		成果:補助金交付件数 5件					
		改革・改善策 当初27年度末までの時限措置であったが、これまでの交付実績数等を検討する中で、茅野市総合計画に合わせて平成29年度末まで延長した。また、広報ちの、ホームページ、茅野市観光協会総会で周知した。今後も継続して周知する。					
(4) 地域資源を活用した企業誘致の推進							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
水資源を活用した企業の誘致 (1企業 (5年間で))		-	-				
鹿肉等を活用する企業の誘致 (1企業 (5年間で))		-	-				
具体的な事業	水資源活用企業誘致事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 【未着手】					
具体的な事業	有害鳥獣活用企業誘致事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 【未着手】					

## 2 人材育成の推進と労働環境の整備

### (1) 経営体質強化と企業育成・人材育成

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
人材育成等支援件数 (15件/年 (H31))		9件	48件				
具体的な事業	人材育成等支援事業	実績: 補助金交付件数 48件 (34社)					
		成果: 人材育成、企業体質改善につながった件数 48件 (34社)					
		改革・改善策 より多くの業種で利用いただけるよう、H28年度から建設関連産業も利用できる業種に加える要綱改正を行った。 支援内容の周知を行うため、市内中小企業に対し、わかりやすいPRパンフレットの配布を行い、継続して事業を実施する。					
具体的な事業	優良技術継承支援事業	実績: 0					
		成果: 0					
		改革・改善策 (公財)長野県中小企業振興センターが運営する「長野県事業引継ぎ支援センター」を活用し、事業承継に関する相談、支援などを同センターに繋いでいく。					

### (2) 就労機会の創出と労働環境の整備による人材の確保

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
インターンシップ受入事業所 (10件/年 (H31))		-	-				
はつらつ事業所認定件数 (5件/年 (H31))		-	23件				
企業ガイダンス参加者数 (500人/年 (H31))		503人	426人				
中高年齢者等雇用促進推奨金申請件数 (20件/年 (H31))		15件	17件				
具体的な事業	子育て女性の就業支援事業	実績: お出かけ相談実施回数及び相談者数 24回、60名 電話相談件数 2件					
		成果: 就業に結びついた者 15名					
		改革・改善策 本事業は、長野県の事業を連携して実施しています。引き続き連携を図り、子育て期の女性の就業の促進を図る。					
具体的な事業	中高年齢者等雇用促進事業	実績: 奨励金交付件数 17件					
		成果: 奨励金交付件数 17件					
		改革・改善策 本事業の内容を企業に周知するとともに、H28年度からは子育て女性を正規従業員に雇用した場合にも奨励金できるように要綱の改正し、子育て女性の雇用促進を図る。					
具体的な事業	インターンシップ促進事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 【検討中】 実施方法、補助金額等について、検討している。					
具体的な事業	はつらつ事業所認定事業	実績: 認定書交付件数 23件					
		成果: 認定書交付件数 23件					
		改革・改善策 事業所が認定を受けることにより何らかのメリットが得られることが必要であるので、男女共同参画推進会議雇用専門部会及び関係部署において検討する。					

具体的な事業	企業面接会・ガイダンス・相談会開催事業	実績:H27ガイダンス参加者数 426人 成果:市内企業新規就職者数 146人 改革・改善策 労働力確保と雇用対策のためにガイダンス事業等の就業支援事業は有効であることから、今後も継続して事業を行うとともに、企業の魅力を発信する就職企業ガイドブックを効果的に学生に行き渡るようにする必要がある。
具体的な事業	学生向け企業見学訪問事業	実績: 成果: 改革・改善策 【未着手】
具体的な事業	求職・就職相談事業	実績:開設情報提供回数 12回 成果:年間相談者数 8,823人(延べ数) 改革・改善策 H27年度よりバルビア2階に移転し、土曜日も開設をすることとなり活用者も増加傾向にある。引き続きハローワークと連携をとり、さらなる周知に努め、運営経費等の支援を継続する。

(3) 創業支援による多様な就労環境の創出

◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
空き店舗等活用件数(1件/年(H31))	0件	1件				
中小企業制度融資あっせん件数(10件/年(H31))	10件	7件				
諏訪東京理科大学卒業生の市内創業・就業者数(20人/年(H31))	6人 <small>(諏訪地域出身者)</small>	14人 <small>(諏訪地域出身者)</small>				

具体的な事業	創業スクール事業	実績:創業相談件数 31件、創業スクール回数 8回 成果:開業・創業資金利用による創業者数 16人 創業スクール受講者数 17人 改革・改善策: 3市1町と連携し、周知期間などを改善し創業スクールを実施する。
具体的な事業	交 コワーキングスペース開設事業	実績:コワーキングスペース利用者数 0人 成果:市開業資金利用者数 16人 改革・改善策 場作りへの外部の知見の取り込みや、地元目線での事業実施等を通じて、その成果を最大化にするための事業の建て付けを検討していく。
具体的な事業	空き店舗等活用事業	実績:補助金申請件数 1件 成果:補助金交付件数 1件 改革・改善策 移住者や商業・サービス業の新陳代謝のため空き店舗等補助をするエリアの見直しの検討を行う。
具体的な事業	中小企業制度融資あっせん事業	実績:融資あっせん件数 224件 成果:融資あっせん金額 1,012,843,000円 改革・改善策:中小企業者等の資金繰りの安定を図るため、引き続き経済情勢や中小企業者等のニーズを的確に捉え、信用保証協会及び金融機関等との連携を密にして利用しやすい制度を維持していく。利用者の使い勝手の向上や創業支援を図りつつ、補助制度の見直しを図り持続的な制度設計を行う。

3 産業間・産学公の連携支援と産業振興の広域連携の強化

(1) 茅野・産業振興プラザへの支援

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
アドバイザー企業訪問件数(560件/年(H31))		560件	639件				
具体的な事業	交 茅野・産業振興プラザ支援事業	実績:利用者数 2,137人、アドバイザー・コーディネーター稼働日数あたりの訪問企業者数 0.9社 成果:製造品出荷額 1,982億円、技術指導契約件数 2件 改革・改善策 限られた予算の範囲内で、従来の事業に加え成長分野にも目を向けた事業展開を図る。また、産業間連携の拠点としての役割を果たすため、組織の見直しも含めた、産業界、大学、市による三者のスムーズかつ緊密な連携を図る。					
	具体的な事業 産業間連携支援事業	実績:H28.1.12 産業間連携推進会議実施 成果:各産業界の現状・課題・推進状況の共有 改革・改善策 上記推進会議により連携事業の検討・調整を行っていく。					

(2) 広域連携の強化による産業活性化支援

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
諏訪圏工業メッセ新規商談成立件数(300件/年(H31))		261件 (メッセ全体)	272件 (メッセ全体)				
人材支援関連事業への参加(6市町村合計)(200人/年(H31))		200人	263人				
具体的な事業	交 諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業	実績:人材育成関連事業への参加 263人 成果: 改革・改善策 諏訪圏6市町村の連携により、より多くの企業の参画を得る中で人材の育成が図られるよう、事業内容の周知等に努める。					
	具体的な事業 NPO諏訪圏ものづくり推進機構支援事業	実績:工業メッセ開催補助金交付 2,702,720円 成果:出展数403社、来場者27,284名、新規商談成立件数272件 改革・改善策 展示会・工業メッセ等へ参加した企業に展示会での成果等(受発注の販路開拓)をヒアリングし、企業ニーズ等を把握しながら、事業継続を支援し、出展企業の増加を目指す。					

4 就農環境の整備等による新規就農等の促進

◆ 重要業績評価指標(KPI)						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31
新規就農者数(4人/年(H31))	3人	2人				
新規就農者等に対する品目別アドバイザーによる指導回数(35回/年(H31))	32回	17回				
具体的な事業 就農者支援事業	実績:相談件数 31件、就農準備セミナー参加人数 7人					
	成果:就農者数 2人					
具体的な事業 品目別アドバイザー制度推進事業	改革・改善策 新規就農者を含め多様な担い手の相談窓口を支援センターが受け持ち(一元化)、関係機関と連携を図り技術面を含めた支援を行い、就農への効果的な誘導を図る。					
	実績:リーダー育成研修会の開催数 1回					
成果:品目別アドバイザーの派遣数 49回						
改革・改善策: 制度の周知に努めているため、だいぶ周知がされてきた感があるが、更なる利用を促すために少しでも相談があれば、農業支援センターとアドバイザーとの連携を密にし、利用促進に努める。また、各アドバイザー栽培地へは、就農希望者に栽培品目の選定のための見学等を積極的に行う。						

## 基本目標2 選ばれるまちをつくる ～茅野市に移り住む、茅野市に帰る～

数値目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
◆ 生産年齢人口(15歳～64歳)比率 (59.1%(H31))	58.2%	57.4%				
◆ 20歳～24歳区分人口 (2,600人(H31))	2,065人	2,192人				

### 1 茅野市の魅力発信と環境整備による移住・定住の促進

(1) 移住・定住に向けた情報発信・環境の整備						
◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
移住・定住・二地域居住に係るポータルサイトの構築(1件(H31))	-	-				
空き家住宅改修件数(6件/年H31))	6件	8件				
具体的な事業	実績:					
	成果: 改革・改善策 制作業務委託について、公募型プロポーザルの公告を平成28年6月28日に開始。8月中には事業者を選定する予定。					
具体的な事業	実績:					
	成果: 改革・改善策 【検討中】 組織的な整備について、庁内体制を検討していく。					
具体的な事業	実績:					
	成果: 改革・改善策 平成28年度実施予定(冊子作成検討中、情報発信は、上記ポータルサイト構築事業の中で検討中)					
具体的な事業	実績: 空き家住宅改修実施件数 8件					
	成果: 年間目標に対する実施率 50%					
具体的な事業	実績: yahoo不動産アクセス件数 3000件、チラシ配布件数800件					
	成果: 申請件数 2件					
具体的な事業	実績: 実証運行バス利用者数(1日当たり) 531人					
	成果: 利用者満足度の向上 79%					
具体的な事業	実績: 空き家住宅改修補助事業					
	成果: 人気のある補助事業なので、期限をいつまで続けるか見極める。また、リフォームだけでなく耐震補強にもつなげていきたい。					
具体的な事業	実績: 住宅団地販売促進事業					
	成果: 販売方法を見直す中で、民間の実施している移住に関するイベントに参加、住宅販売用ポスターの作成、首都圏等でのPR活動を実施していく。					
具体的な事業	実績: 公共交通確保維持改善事業					
	成果: H28年10月からのバス再編に向け、バス内に新たなルートや時刻表を掲示するなど、利用者への周知を徹底していきたい。					

(2) 「楽園信州ちの協議会」と連携した移住・定住の推進						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
田舎暮らし楽園信州ちの協議会を通じた移住・定住件数(10件/年(H31))	10件	12件				
具体的な事業 田舎暮らし楽園信州ちの協議会支援事業	実績: ホームページ閲覧者数 29,363人、市外イベント9回出展					
	成果: 田舎暮らし楽園信州ちの協議会を通じた移住件数 12件					
改革・改善策 「地域住民と移住希望者等が交流できる拠点等を創業する者に対する補助金の創設」、「地域の若者と県外の若者が交流できるツアーイベント等の開催」、「地域の魅力をPRするガイドブック・動画の作成」等を実施していく。						
(3) 広域連携による移住・定住の促進						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
(仮称)楽園信州移住相談センター諏訪支部への相談件数(60件/年(H31))	40件	-				
具体的な事業 (仮称)楽園信州移住相談センター諏訪支部支援事業	実績: 平成28年度開設に向けた検討会等を随時開催					
	成果: 平成28年6月1日 諏訪圏移住相談センターオープン					
改革・改善策: 専任の相談員を配置し、平成28年6月1日にオープンした。運営主体は、諏訪圏移住交流推進事業連絡会(諏訪圏域6市町村、諏訪地方事務所、諏訪圏域の商工会議所・商工会、宅建協会諏訪支部、移住者の会等)となり、今後も連携による移住推進を図る。						

## 2 別荘地等に着眼した二地域居住の推進に向けた情報発信・環境の整備

(1) 二地域居住の実践PRと環境の整備支援						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
クレジットカード等決済端末導入補助事業申請件数(50件(5年間で))	-	-				
具体的な事業 別荘開発事業者等との連携推進事業	実績: H28.10.27 観光協会開発事業者部会との意見交換会実施					
	成果: 総合戦略策定の趣旨等について意見交換ができた。					
改革・改善策 さらに意見交換等を行い、二地域居住等の実現に向けた取り組みの足掛かりを掴みたい。						
具体的な事業 キャッシュレス環境普及推進事業	実績: H27.10.21 セミナー参加、H28.3.28 セミナー実施					
	成果: 実施セミナー参加社 約10社					
改革・改善策 決済端末等導入補助制度の検討 (課題)イニシャルコスト支援は、既に民間(バンク・信販系カード会社等)で充実しており、むしろランニングコスト支援を望む声が多い。						
(2) 二地域居住の推進に向けた認知度の向上						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
イベント来場者数(15,000人/件(H31))	-	14,128人				
具体的な事業 移住・定住・二地域居住に係るポータルサイト構築事業(再掲)	実績:					
	成果:					
改革・改善策 制作業務委託について、公募型プロポーザルの公告を平成28年6月28日に開始。8月中には事業者を選定する予定						
具体的な事業 交 茅野市の認知度向上事業(全国的イベント開催支援事業)	実績: イベント実施回数 1回					
	成果: 来場者数 14,128人					
改革・改善策 H27は「住」に関するイベントとして小屋フェスを実施し、目標値に近い来場者があった。また、取材やSNSでの拡散により、Googleでの「茅野市」の検索回数が2004年以降最多となった。H28は「食」に関するイベントを実施する。						



(3) 市民農園の活用による別荘所有者等の滞在期間の増加・定住促進						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
別荘所有者等市民農園利用者数(20人/年(H31))	-	7人				
具体的な事業 市民農園貸出事業	実績:市民農園の設置数 3ヶ所					
	成果:市民農園の利用者数 33人					
改革・改善策 市民からのニーズを確認しながら、開設者の掘り起しに努める。また、市民農園に係る有効なPRの方法、並びに農地の提供方法について検討し、開設者及び利用者にとって有益になるような市民農園を実施する。						

### 3 郷土愛を育む取組の推進

(1) 幼児、小中高生が地域や学校において郷土愛を育む事業の推進						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
「将来は茅野市で働きたい」と思う15歳～18歳の割合 (60% (H31))	-	48.5%				
具体的な事業 地区子ども館運営事業	実績:情報だより等の発行 9回 相談員巡回日数 12日					
	成果:10館の平均利用者数 39人					
改革・改善策: 地区子ども館は、開館からおおむね10年以上が経過し、社会情勢の変化等に伴い利用者のニーズに変化が見受けられる。今後は、現在までの子ども館の運営等について検証を行い、利用者の少ない午前中及び土曜日の開館の課題を含め、行政と市民との協働によりそれぞれの地区に合った子育ての拠点としての館の方向性や運営方法について地区子ども館連絡会議等により検討し、子育てを地区全体で応援する活動のさらなる充実・発展を目指す。						
具体的な事業 子ども未来プロジェクト推進事業	実績:定例会開催日数 29回 プロジェクトメンバー数 34名 大人のサポーター参加者数 7名					
	成果:子ども会議参加者数 130名 将来茅野市で暮らしたい15歳～18歳の割合 48.5%					
改革・改善策 「行動するプロジェクト」の推進と、結果の広報活動を行い、市民に子どもたちの姿を周知していく。 プロジェクトメンバーが定例会や事業に参加しやすい仕組みづくりの検討。 各学校、どんぐりネットワーク茅野との関与の拡大。						
具体的な事業 中高生広場運営事業	実績:利用対象者への啓発回数10回 自主企画事業の開催回数12回 地域社会への参画回数11回					
	成果:利用登録者数1,180人 利用延べ人数15,914人					
改革・改善策 施設備品ドラムス等が劣化しており、更新が必要となってきた。施設照明など設備・消耗品関係も計画的修理、購入が必要である。 より多くの市内中高生の利用を促進するため、市内中学校の校長・教頭を対象とした説明会を設ける。 「子どもの居場所ディレクター」を中心に、地区子ども館を含め子どもの居場所のあり方について検討を進める。 子どもの居場所スタッフとしての資質を高めるためにスタッフの研修を行う。						
具体的な事業 幼保小連携教育推進事業	実績:接続期カリキュラム・異年齢交流・職員連携・保護者連携を計画に沿って実施					
	成果:入学直後から、落ち着いて小学校生活を送ることができた。					
改革・改善策 H27に接続期カリキュラムによって進めてきた実践事例集を書籍として発刊した。これを1つの手引書として活用しながら継続的に実施していく。						

具体的な事業	小中一貫教育推進事業	実績:研修回数 5回 成果:実施回数 12回 改革・改善策 今後、制度の説明会に参加できるように、旅費を確保したい。
具体的な事業	生きる力を育む特色ある学校づくり事業	実績:審査会の開催 1回、発表会の開催 1回 成果:事業実施校 13校 改革・改善策 今後も、同額の予算は確保していきたい。
具体的な事業	「縄文科」推進事業	実績:発表会の開催 1回 成果:事業実施校 13校 改革・改善策 今後も、継続する。
具体的な事業	小泉山体験の森整備活用事業	実績:対象者への周知回数 10回 成果:山開きへの参加者数 500人 改革・改善策 自然を活かした整備・活用を行っているため、時間の経過とともに、荒廃化や木製案内板、自然木を活用した遊歩道などに老朽化が発生しています。そのため、市民や周辺住民で設置する委員会と協力し、自分たちで実施可能な作業は積極的に実施していくなど、低コストの整備活動を目指す。
具体的な事業	多留姫文学自然の里整備活用事業	実績:創造委員会の開催件数 3回 成果:里まつりへの参加者数 300人 改革・改善策 各種整備が完了するため、事業総額は縮小した。ただし、安全対策や経年劣化に伴う修繕費などが、各年必要である。平成22年度にパンフレットの改定版を製作する。平成23年度には事業実施地の歴史・環境等をまとめた解説本を刊行した。
具体的な事業	「やつがたけのちっち」配布事業	実績:毎年、絵本を市内年長児へ手渡しで配布(平成14年から)。 成果:「やつがたけのちっち」について、多くの市民が知っている。 改革・改善策 平成15年から、年長児親子と「ちっちの故郷を訪ねての旅」バスツアー実施 平成28年度、大型絵本を30冊製作し、各保育園に配布。
具体的な事業	読み一むinちの活動支援事業	実績:読み一むinへの加入の働きかけを行った件数 5回 成果:朝の読書活動団体数 34団体 改革・改善策 市民団体活動費としての市負担金を有効に活用できるよう、連絡調整を綿密に行い「第2次茅野市子ども読書活動推進計画」に基づき、市の担う役割と市民の担う役割を明確にしながら事業の充実を図る。 推進会議において、公民協働の読書活動について見直したいとの要望がありました。見直し内容を早い段階で結論を出し今後の方向性を決めたい。
具体的な事業	読書推進事業	実績:文芸講演会・各種講座の開催周知をする 10,000枚 ボランティア団体の参加を呼びかける 120回 成果:企画参加者数増やす 100% 改革・改善策 一般向け講演会を計画済み ボランティア活動の機会を捻出していく。

具体的な事業	こども読書活動応援センター事業	実績:調べ学習用の資料を充実させる100%					
		成果:全国コンクール入賞作品点数を増やす100%					
		改革・改善策 今後、調べ学習コンクールへ応募がない「親子の部」「高校の部」への応募が考えられるが、こども読書活動応援センターの機能・役割を考えた場合、職員体制を含めた業務の見直しの検討が必要となる。					
(2) 諏訪東京理科大学学生の定着推進							
◆ 重要業績評価指標(KPI)		H27	H27	H28	H29	H30	H31
諏訪東京理科大学卒業生の市内創業・就業者数(20人/年(H31))		6人 <small>(諏訪地域出身者)</small>	14人 <small>(諏訪地域出身者)</small>				
具体的な事業	諏訪東京理科大学学生生活応援事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 <b>【未着手】</b>					
具体的な事業	インターンシップ促進事業(再掲)	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 <b>【検討中】</b> 実施方法、補助金額等について、検討している。					
具体的な事業	コワーキングスペース開設事業(再掲)	実績:コワーキングスペース利用者数 0人					
		成果:市開業資金利用者数 16人					
		改革・改善策 場作りへの外部の知見の取り込みや、地元目線での事業実施等を通じて、その成果を最大化にするための事業の建て付けを検討していく。					
具体的な事業	学生向け企業見学訪問事業(再掲)	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 <b>【未着手】</b>					

### 基本目標3 楽しいまちをつくる ～茅野市を訪れる、茅野市で遊ぶ～

数値目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
◆ 市内観光地延利用者数 (3,400,000人／年(H31))	3,193,700人	3,281,000人				
◆ 尖石縄文考古館来館者数 (70,000人／年(H31))	46,717人	57,500人				

#### 1 地域資源の魅力を活かした観光商品の造成・情報発信

##### (1) 4エリア(八ヶ岳、蓼科、白樺湖・車山、縄文の里)のエリア内連携による誘客促進

◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
滞在人口率全国順位(350位(H31))	561位	未発表				
具体的な事業 各エリアの連携事業	<p>実績:各エリア活動支援金補助 1回</p> <p>成果:茅野市観光協会予算200万円補助し、各エリアが活動実施(マップ制作・乗合タクシーの実施・蓼科もみじまつり開催・八ヶ岳キッズプロジェクト実施)</p> <p>改革・改善策 平成27年までは、4エリアにほぼ等分に補助金を交付していたが、平成28年度からは、がんばっているエリアに多く配分することにした。</p>					

##### (2) 「女性」と「健康」をキーワードにした誘客促進

◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
首都圏プロモーション事業参加者数	3,060人	4,166人				
具体的な事業 首都圏女子をターゲットにした誘客宣伝事業	<p>実績:雑誌掲載等に連動した期間限定(2週間)カフェの開催</p> <p>成果:カフェ来場者数の増加(前年比1,106人増)</p> <p>改革・改善策 Facebookを使った情報発信を効果的に活用して旬な情報発信より多くを行うとともに、実際に八ヶ岳を訪れるツアーの造成及び送客方法を検討する。</p>					

##### (3) 学習旅行の誘致促進

◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
学習旅行延児童・生徒数(40,000人／年(H31))	26,859人	未発表				
サマーキャンプ参加者数(300人／年(H31))	251人	252人				
具体的な事業 学習協サマーキャンプ・スノーキャンプ実施事業	<p>実績:サマーキャンプ(3泊4日)の実施 8回</p> <p>成果:参加者数 252人 延べ人数 756人</p> <p>改革・改善策 平成27年まではハードな登山を実施していたが、平成28年からは参加する低学年のためにレベルを下げた安全な登山とした。</p>					
具体的な事業 「まるごとワクワク体験」冊子活用事業	<p>実績:冊子の作製 5,000部</p> <p>成果:大手旅行業者教育旅行支店への商談会で配布</p> <p>改革・改善策 冊子に掲載された体験に地元の児童、生徒の参加をしてほしいため、市内及び6市町村の小中学校への配布を考える。</p>					

具体的な事業	茅野市学習旅行マーケティング・ブランド化事業	実績: 成果: 改革・改善策 【未着手】					
<b>(4) インバウンドの誘致促進</b>							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
訪日外国人市内宿泊者数(45,000人/年(H31))		25,307人	38,000人				
具体的な事業	海外プロモーション事業	実績:海外プロモーションへの参加 5回 成果:新興市場である東南アジア地域からの増加 改革・改善策 基本市場となっている東アジア地域からの年間を通じて安定した送客					
具体的な事業	インバウンド招聘事業	実績:旅行会社及びメディア等招聘事業の実施 成果:台湾親子向け商品の造成及びWEBによる情報発信 改革・改善策 送客に結び付く商品造成の依頼及び個人旅行者に向けた情報発信方法の検討					
具体的な事業	学校交流受入事業	実績:現地プロモーション 1回 商談会への参加 2回 成果:学校交流の受入れ 8校 改革・改善策 学校交流に加えた市内での体験プログラム等の提案					
<b>(5) フィルムコミッション活動等の推進</b>							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
市内ロケ場所(40ヶ所/年(H31))		28ヶ所	30ヶ所				
小津安二郎記念・蓼科高原映画祭来場者数(3,000人/年(H31))		2,804人	1,852人				
アニメ聖地巡礼ツアー参加者(50人/年(H31))		16人	49人				
具体的な事業	フィルムコミッション推進事業	実績:ロケ地誘致の支援(ロケハン、画像提供) 50件 成果:ロケの実施 30本 改革・改善策 話題作の誘致及び誘客方法の検討					
具体的な事業	小津安二郎記念・蓼科高原映画祭支援事業	実績:映画祭(2日間、映画12本、イベント等)の実施 成果:来場者 1,852人 改革・改善策 首都圏からの誘客に向けてJR信州DCキャンペーンを活用した商品開発を行う。					
具体的な事業	交 アニメなどの聖地活用事業	実績:アニメ聖地巡礼ツアー開催数 2回 成果:ツアー参加者延べ 49人 改革・改善策 平成27年までは著作権絵は使用せずツアーを開催していたが、平成28年秋のツアーからは著作権を借りてグッズ等も作製し実施していく予定。また、アニメの舞台で小宮の御柱が開催されるので、首都圏から1泊2日で御柱の参加者を募集。その他、アニメのイベントでも茅野市の聖地をPRする。					

(6) 地域の文化施設を活用したミュージアム連携イベントの推進						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
ミュージアムツアー参加者数(延100人/年(H31))	延61人	延63人				
具体的な事業	実績:ミュージアムピクニック開催数 3回 成果:参加人数 延63人 改革・改善策 平成27年度は(株)地域文化創造主催事業として実施。(文化庁助成。茅野市ミュージアム活性化事業。) 平成28年度は助成対象外となったため、(株)地域文化創造の経費で実施予定。					

## 2 観光の活性化に向けた環境・受入体制の整備

### (1) 別荘利用者の滞在日数増加対策の支援

◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
別荘地の水道使用量(254,000立方メートル/年(H31))	242,126	249,058				
具体的な事業	実績:観光開発事業者部会の開催 4回 成果:蓼科5ゴルフ場スタンプラリーの開始 改革・改善策 平成27年から始めた「蓼科5ゴルフ場スタンプラリー」について、新たに観光協会に設置した温泉部会と連携し、スタンプラリーの景品に温泉部会員の温泉施設入浴券をプレゼントする。 また、ゴルフ場の連携の他に、市で発行しているウォーキングマップの集約事業を手掛けていく予定。					
具体的な事業	別荘開発事業者等との連携推進事業(再掲)					
具体的な事業	別荘滞在者等のための文化・芸術支援事業 実績:各別荘で行われている音楽イベントの集約 成果:集約したチラシ2000枚・ポスター100枚・新聞折り込み13000枚作製し情報発信した 改革・改善策 各別荘開発事業者が連携して情報を集約し、ポスターやチラシで情報発信したが、ホームページやマスコミを使った情報発信が無かったため、平成28年は多くのメディアを使った広報をする。					
具体的な事業	キャッシュレス環境普及推進事業(再掲) 実績: 成果: 改革・改善策 【未着手】					
具体的な事業	市民農園貸出事業(再掲) 実績:市民農園の設置数 3ヶ所 成果:市民農園の利用者数 33人 改革・改善策 市民からのニーズを確認しながら、開設者の掘り起しに努める。また、市民農園に係る有効なPRの方法、並びに農地の提供方法について検討し、開設者及び利用者にとって有益になるような市民農園を実施する。					

### (2) 広域観光連携の推進

◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
ビーナスライン沿線観光地の延利用者数(9,259,000人/年(H31))	8,818,100人	未発表				
ビーナスライン広域観光ホームページアクセス件数(ビジット)(500,000件/年(H31))	—	—				
具体的な事業	実績:国内外旅行博の参加 成果:国内 1回 海外 1回 改革・改善策 諏訪地域他市町村と連携した広域ルートの提案による滞在時間の延長方法及び集客方法の検討					

具体的な事業	白樺湖活性化協議会との連携事業	実績:平成27年度に車山、白樺湖、女神湖エリアの連携による協議会の設立 成果:3エリアを網羅するエリアマップ、イベントカレンダーの作成 改革・改善策 現在誘客や周遊のテーマに掲げている「健康と運動」を発信していくため、紙ベースでのパンフレット以外にも、プロモーションビデオの制作等より訴求力のある媒体の作成を検討する。 ビーナスライン連携の枠組みなども活用して「健康と運動」を発信していく。					
具体的な事業	交 ビーナスライン沿線市町との連携事業	実績:沿線19団体から成る協議会の設立 成果:基礎調査回答者 1,244人 広域パンフ設置 120ヶ所 セミナー参加26人 改革・改善策 KPIの延利用者数について、沿線各地域の27年度入込実績がまだ公表されておらず、また、ホームページは28年度事業として作成する予定のため、現時点では評価できない。27年度の本事業は、ビーナスラインを一体的な地域として基礎調査、情報共有、共通誘客ツールの作成から着手。今後、広域観光連携を推進し、観光振興上の成果を達成するためには、広域におけるビジョンやコンセプトが必要であり、28年度事業として策定を進める。					
(3) 観光拠点施設等の整備							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
大学駅伝市内合宿数 (5大学/年 (H31))		3大学	3大学				
具体的な事業	蓼科湖周辺整備事業	実績:遊歩道完成延長L=1,010m(全延長1,330m) 成果:蓼科観光入込客数 1,505,100人(前年比68,300人増) 改革・改善策 自然環境支援整備事業を活用し事業遂行を図る。平成28年度はL=90m施工する。					
具体的な事業	白樺湖ジョギングロード整備事業	実績:遊歩道完成延長L=600m(全延長2,400m) 成果:白樺湖観光入込客数 794,800人(前年比13,900人増) 改革・改善策 自然環境支援整備事業を活用し事業遂行を図る。平成28年度はL=1,800m施工する。					
具体的な事業	御射鹿池周辺整備事業	実績:駐車場整備工事 A=2,200㎡(大型車4台、普通車35台) 成果:工事中のため無し 改革・改善策 諏訪建設事務所の道路改良工事と合わせた工事工程を立て、事業推進を図る。駐車場整備工事A=2,200㎡(大型車4台、普通車35台)					
具体的な事業	観光地二次元交通対策事業	実績: 成果: 改革・改善策 【未着手】					
具体的な事業	観光地廃ホテル等対策事業	実績:地元財産区等への助言 10回 庁内連絡会議 3回 広域連携に向けた会議 23回 成果:法的整理(訴訟勝訴) 広域連携協議会の設立 改革・改善策 廃屋問題解決に要する法的整理が成されたことにより、今後、土地所有者(財産区)による実際の撤去を実現するための財産区民合意形成に重点が移る。地元事業者、住民、財産区等による観光地再生に向けたビジョン策定を促すために技術的な支援を行っていく必要がある。					

(4) 文化施設を観光に活かす人材の育成						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
ミュージアムコンシェルジュ育成事業参加者数(延90人/年(H31))	66人	30人				
具体的な事業	実績:講座開催数 1回 成果:参加人数 30人 改革・改善策 ミュージアムコンシェルジュ育成事業 平成27年度は(株)地域文化創造主催事業として実施。(文化庁助成。茅野市ミュージアム活性化事業) 平成28年度は助成対象外となったため、実施しない。					
具体的な事業	実績:ミュージアム活性化推進委員会において検討 成果:茅野市民館の多言語のホームページ及び市内6ミュージアムの日本語・英語・中国語のチラシ作製 改革・改善策:尖石縄文考古館・八ヶ岳総合博物館・神長官守矢史料館・市美術館・京都造形美術大学附属康耀堂美術館・蓼科高原美術館矢崎虎夫記念館の6館の文化施設について、市内に住む外国人及び訪日外国人のために中国語と英語のチラシを作製。好評により平成28年以降も発行していく。					
(5) 訪日外国人のための多言語対応の強化						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
おもてなしの外国語講座受講者数(延40人/年(H31))	-	-				
具体的な事業	実績: 成果: 改革・改善策 <b>【未着手】</b>					
具体的な事業	実績:商談会、現地プロモーションでのPR 成果:縄文による商品開発依頼 30件 改革・改善策 訪日外国人のための縄文文化体験ツアー事業 縄文文化の関心の高い外国市場の調査とに関心の高いツアーの検証					
具体的な事業	実績: 成果: 改革・改善策 <b>【未着手】</b>					



3 縄文プロジェクトの推進による誘客の促進

(1) 縄文プロジェクト“識る”の具体的な実践

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
ボランティアガイドによる考古館ガイド実施人数(120人/年(H31))		113人	167人				
具体的な事業	縄文ムラの復元体験事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 平成28年度縄文プロジェクト識る部会を中心に縄文風小屋製作の体験事業に着手しており、市民親子対象の製作体験教室を2回開催する。					
具体的な事業	史跡整備・考古館充実事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 平成27年度に「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画書」を発刊し、緊急性のある園路橋の架け替えや老朽木の伐採等について計画書に基づき平成28年度から一部事業着手。					
具体的な事業	縄文ガイドブック・ツアー事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 縄文プロジェクト識る部会を中心にガイドブックの原稿執筆、編纂を進めており、平成28年度に縄文ガイドブックとして刊行予定。国指定史跡めぐるツアーを平成26年度から年1回公募して開催。					

(2) 縄文プロジェクト“広める”の具体的な実践

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
縄文ホームページ(考古館含む)アクセス件数(ビジット)(15,000件/年(H31))		-	31,058件 (4ヶ月)				
具体的な事業	縄文ホームページ開設運営事業	実績:縄文ホームページの開設					
		成果:茅野市の縄文について広く周知する					
		改革・改善策 多くの人にリピーターになってもらうため、縄文ホームページを充実させる。					
具体的な事業	縄文ふるさと大使事業	実績:新たに大使1名を委嘱					
		成果:茅野市をPRしていただく					
		改革・改善策 新たな縄文ふるさと大使の委嘱促進を図る。					
具体的な事業	縄文ふるさと応援団事業	実績:新たな応援団の登録					
		成果:新たに応援団として326名登録					
		改革・改善策 縄文ふるさと応援団を増員するため、人が集まる機会にチラシを配布し周知する。					
具体的な事業	交 縄文の都PR事業	実績:大型パネルの設置1件 ラッピング高速バス1件					
		成果:まちづくりに縄文が活用されていると思う市民の割合 57%					
		改革・改善策 全国的にも、茅野市が注目を浴びる取組を縄文プロジェクトで展開していく。					

(3) 縄文プロジェクト“産み出す”の具体的な実践						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
縄文に関連した商品開発件数(2件/年(H31))	1件	5件				
具体的な事業	実績:審査会開催数 1回 補助金交付件数 5件 成果:補助金申請件数 5件 開発された商品数 5個 改革・改善策 縄文文化に関連した新商品の開発支援、事業PRはもとより、開発した商品の販売ルート、販路開拓の支援を検討する。					
(4) 縄文プロジェクト“楽しむ”の具体的な実践						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
八ヶ岳縄文の里マラソン参加者数(1,200人/年(H31))	883人	1,125人				
茅野市5000年縄文まつり参加者数(4,000人/年(H31))	3,700人	2,500人				
具体的な事業	実績: 成果: 改革・改善策 縄文に関するイベントを3年に1度のトリエンナーレ方式で開催する。平成29年度に第1回「八ヶ岳縄文ライフフェスティバル」として開催予定。平成28年度からプランナーを交え企画立案の検討を開始する。					
具体的な事業	実績:大会回数 1回 成果:参加人数 1,125人 改革・改善策 平成27年度の事務事業評価は、「スポーツ活動充実事業」の中の一大会としており、八ヶ岳縄文の里マラソン単独での評価は行っていない。また、縄文プロジェクトの中の事業という位置づけも明確にされていない。平成28年度以降「八ヶ岳縄文ライフフェスティバル」の企画内容を検討する中で、事業の位置づけを考えていく必要がある。					
具体的な事業	実績:イベント件数 15件 成果:参加人数 2,500人 改革・改善策 多くの人が祭りに参加し、縄文時代の雰囲気を感じてもらい、縄文文化のすばらしさを発信するために大切な施策である。夏の花火大会の開催がなくなり、市民が集まるイベントが少なくなっていることから、市民が楽しめるイベントは必要である。					
具体的な事業	実績:報道件数 10件 成果:報道件数 10件 改革・改善策 縄文をテーマに設けた特別展を開催することで、縄文のすばらしさを発信する有効的な手段となる。					

基本目標4 若い世代を応援する ～茅野市で産む、茅野市で育てる～

数値目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
◆ 人口千人当たりの婚姻件数 (7件以上(H31))	6.1件	5.5件				
◆ 人口千人当たりの出生人数 (9人以上(H31))	8.5人	8人				

1 結婚・妊娠・出産の切れ目ない支援

(1) 婚活支援						
◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
若者の出会いの創出事業参加者数(50人/年(H31))	-	38人				
具体的な事業	実績:実施回数 1回 成果:参加者数 38人 改革・改善策 茅野どんぼんのあんどんづくりのボランティアを市内企業から出していただき 出会いを創出している。企業や参加者の反応から平成29年度は別の内容で 実施するよう検討する。					
具体的な事業	実績: 成果: 改革・改善策 【未着手】					
(2) 妊娠・出産支援						
◆ 重要業績評価指標(KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
パパママ講座受講率(50%(H31))	31.3%	52.0%				
具体的な事業	実績:不妊治療助成事業利用による出産 7% 成果:不妊治療助成事業決定件数 29件 前年比 13件増 改革・改善策 不妊症に悩む夫婦が不妊治療を受けやすい環境を整えるために平成28年 度から男性不妊症及び不育症治療費も助成対象とした。今後は事業の周知を 徹底し、よりよい環境となるよう取り組む。					
具体的な事業	実績:妊婦一般健診受診者件数 5,626件 成果:妊娠15週までに妊婦健診受診票を発行した割合 98% 改革・改善策 妊娠初期から胎児と妊婦の健康状態を確認し、安全な出産につなげてい くために医療機関と連携するなどして、妊娠早期から健診を受けることができ るよう取り組む。					
具体的な事業	実績:パパママ講座参加者/第1子の出産を迎える夫婦 52% 成果:前年比 16%増 改革・改善策 医療機関(産科)にチラシを配備及び母子健康手帳交付時に詳細に説明を し、講座受講を誘導することを徹底したことで改善につながった。今後も同様 の取組みを行っていく。					

2 安心して子育てできる環境をつくる

(1) 相談・訪問体制の充実

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
新生児等の家庭訪問実施率(100%(H31))		99.8%	97.7%				
子育て等相談支援終結率(60%(H31))		48.0%	95.0%				
具体的な事業	妊婦・乳幼児訪問事業	実績:428人 97.7%					
		成果:訪問できなかった人は、別の方法で100%支援できた。					
改革・改善策		訪問ができない場合も、対象の把握、連絡は100%行う。電話による対応は、対面の方法にする。里帰り中に訪問が済んだ場合は、茅野市に戻った後にフォローする。					
具体的な事業	母子に関する相談及び支援事業	実績:2186件 100%					
		成果:相談件数は減ったが決定率は100%達成できた。					
改革・改善策		妊婦に対しては、母子手帳届時に面接とアンケートを実施し、支援する。新生児等訪問時、乳幼児健診等の機会をとらえて相談し、また、相談場所等について案内する。転入者のフォローを確実にを行う。					
具体的な事業	生活支援員派遣事業	実績:H27.11より4世帯 130時間の派遣					
		成果:生活支援員を派遣し、母親等への支援を継続したことにより、育児環境が整い自立が図られた。(1世帯) 継続派遣3世帯					
改革・改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援員の育成、確保</li> <li>対象世帯を見落とさない取組(乳幼児訪問の充実)</li> <li>ファミリーサポート事業との連携、整合性の検討</li> </ul>					
具体的な事業	家庭児童相談員等相談支援事業	実績:相談件数 402件					
		成果:相談終了件数 95%					
改革・改善策		<p>要保護児童対策地域協議会による要保護児童等への支援方針と進行管理表の確認をし、放置ケースの防止に努め、重大事例を防ぐため、実務者会議を毎月開催し進行管理を行う。</p> <p>関係者会議を開催し、関係機関との情報共有と連携のもと、多面的に支援していく。相談業務が増えており相談員への負担が過大になっている。正規のケースワーカー等の配置を検討したい。相談員の業務量内容に見合う待遇(報酬)がされていないため、同様の業務行っている教育支援指導主事と同等の待遇が必要。</p>					
具体的な事業	発達支援等相談事業	実績:情報共有等連絡12回・巡回相談数43回・訪問連絡回数2回					
		成果:相談件数 325回					
改革・改善策		職員(保健師常駐)を増員し、専門性をいかした継続的支援の相談体制を強化し、発達に支援が必要な子ども及び保護者の随時の相談受入れについて関係者へ周知し、相談業務の充実を図る。					

(2) 子育てと仕事の両立に対する支援							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
ファミリー・サポートセンター事業利用回数 (800回/年 (H31))		-	-				
はつらつ事業所認定件数 (5件/年 (H31))		-	23件				
具体的な事業	ファミリー・サポート・センター事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 H28から実施					
具体的な事業	子育て短期支援事業	実績:					
		成果:					
		改革・改善策 H28から実施					
具体的な事業	学童クラブ運営事業	実績: 市民・入所家庭への周知回数 1回 研修回数 12回					
		成果: 入所率 100% 研修参加率 92%					
		改革・改善策 常勤指導員が不足している学童クラブには、代替指導員を配置し、常勤指導員の募集をハローワークや広報ちのを通じて実施する。					
具体的な事業	はつらつ事業所認定事業 (再掲)	実績: 雇用専門部会開催回数 3回					
		成果: 認定件数 23件					
		改革・改善策 「はつらつ事業所」認定制度を広く紹介し、商工課と連携し応募者の増加を図る。					
(3) 子育て・親育ちの支援							
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
子育て、親育ち関連講座の参加者数 (家庭教育センター主催分 (2,800人/年		2,755人	2,963人				
中高生広場利用者数 (14,200人/年 (H31))		14,183人	15,914人				
1日保育士体験参加率 (父親40% 母親70% (H31))		父親30.7% 母親59.8%	父親24% 母親56%				
具体的な事業	子育て・親育ち支援等講座事業	実績: 講座の開催数 55回					
		成果: 受講者数 2,963人					
		改革・改善策 各講座に託児制度を設け、夫婦で受講する内容を入れる。 講座開催の周知方法として、参加しやすい1回講座を実施し、これをきっかけに他の事業に誘導していく。					

具体的な事業	0123広場運営事業	<p>実績:子育て講座・行事の開催 36回 相談件数 418人          成果:市内利用者数 10,598人 リポート回数 78回          改革・改善策          床が経年劣化により利用に支障が出始めている。毎年補修をしてきているが、補修では対応しきれなくなってきたおり、塗装改修が必要である。          利用者運営委員会の活動が活発になるよう啓発活動をし、利用者の会員の増加等により利用者参加型の運営を目指す。          幅広い年代の市民ボランティアへの協力をお願いし、人と人との交流が活発に行われるようにする。          女性就労支援員による、子育て世代の女性への相談支援を行う。          こども館の認知度が高まるような新たなPR方法を考えるとともに、こども館のポスター掲示やビーナチャンネルからの情報発信を充実させる。</p>
具体的な事業	地区こども館運営事業(再掲)	<p>実績:情報だより等の発行 9回 相談員巡回日数 12日          成果:10館の平均利用者数 39人          改革・改善策 地区こども館は、開館からおおむね10年以上が経過し、社会情勢の変化等に伴い利用者のニーズに変化が見受けられる。今後は、現在までのこども館の運営等について検証を行い、利用者の少ない午前中及び土曜日の開館の課題を含め、行政と市民との協働によりそれぞれの地区に合った子育ての拠点としての館の方向性や運営方法について地区こども館連絡会議等により検討し、子育てを地区全体で応援する活動のさらなる充実・発展を目指す。</p>
具体的な事業	中高生広場運営事業(再掲)	<p>実績:利用対象者への啓発回数 10回 自主企画事業の開催回数12回          地域社会への参画回数 11回          成果:利用登録者数 1,180人 利用延べ人数 15,914人          改革・改善策          施設備品ドラムス等が劣化しており、更新が必要となってきた。施設照明など設備・消耗品関係も計画的修理、購入が必要である。          より多くの市内中高生の利用を促進するため、市内中学校の校長・教頭を対象とした説明会を設ける。          「子どもの居場所ディレクター」を中心に、地区こども館を含め子どもの居場所のあり方について検討を進める。          子どもの居場所スタッフとしての資質を高めるためにスタッフの研修を行う。</p>
具体的な事業	保育園を拠点とする地域子育て支援事業	<p>実績:参加人数 延べ4,493人          成果:事業を通じ、未就園児の親の横のつながりが生まれ、保育園が身近な交流の場となった。          改革・改善策          在園児との交流を主体とした内容を盛り込み、保育園を知ってもらい、より満足できる場にしていく。          相談件数が減少傾向にあるため、園長・主任保育士が、気軽い相談できる関係作りに努める。</p>
具体的な事業	どんぐり手帳活用事業	<p>実績:検討会議 1回 活用説明会 2回          成果:手帳交付率 67%          改革・改善策          平成26年度に実施したアンケート結果から、有効活用してもらうために、保健関係では、健診・予防接種時に、保育園・幼稚園・学校では、家庭訪問・個別懇談・相談時に、また、医療機関にも必要項目への記載をお願いしていく。また、配布する側の行政職員には利用促進のための保護者への説明や利用機会を増やすよう検討、依頼していく。平成28年度に保護者に行うアンケート内容の検討を行う。</p>
具体的な事業	保育園1日保育士体験事業	<p>実績:参加人数父親 370人 母親 922人          成果:満足度 97.7%          改革・改善策          1日保育士体験の参加は定着してきているものの、参加率が伸び悩んでいる。(在園中に複数回参加できない)          また、園によって片寄りもある。1日保育士体験の推奨者である、松居和先生の講演会を計画的に実施し、多くの保護者の参加を目指したい。</p>

具体的な事業	幼保小連携教育推進事業(再掲)	実績:接続期カリキュラム・異年齢交流・職員連携・保護者連携を計画に沿って実施 成果:入学直後から、落ち着いて小学校生活を送ることができた。 改革・改善策 H27に接続期カリキュラムによって進めてきた実践事例集を書籍として発刊した。これを1つの手引書として活用しながら継続的に実施していく。				
具体的な事業	小中一貫教育推進事業(再掲)	実績:研修回数 5回 成果:実施回数 12回 改革・改善策 今後、制度の説明会に参加できるように、旅費を確保したい。				
具体的な事業	読りーむinちの活動支援事業(再掲)	実績:読りーむinへの加入の働きかけを行った件数 5回 成果:朝の読書活動団体数 34団体 改革・改善策 市民団体活動費としての市負担金を有効に活用できるよう、連絡調整を綿密に行い「第2次茅野市こども読書活動推進計画」に基づき、市の担う役割と市民の担う役割を明確にしながら事業の充実を図る。 推進会議において、公民協働の読書活動について見直したいとの要望がありました。見直し内容を早い段階で結論を出し今後の方向性を決めたい。				
具体的な事業	こども読書活動応援センター事業(再掲)	実績:調べ学習用の資料を充実させる 100% 成果:全国コンクール入賞作品点数を増やす 100% 改革・改善策 今後、調べ学習コンクールへ応募がない「親子の部」「高校の部」への応募が考えられるが、こども読書活動応援センターの機能・役割を考えた場合、職員体制を含めた業務の見直しの検討が必要となる。				
(4) 子育て世帯への経済的支援						
◆ 重要業績評価指標(KPI)						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	21.5%	15.5%				
具体的な事業	多子世帯保育料軽減事業	実績:対象者268人、軽減額 約2,621万円 成果:多子世帯の経済的支援を行うことができた。 改革・改善策 国の多子軽減策がH28より拡充となったが、市単独施策では、国の拡充施策に当てはまらない世帯を対象とし、引き続き経済的負担の軽減を実施する。				
具体的な事業	医療費助成事業	実績:広報誌掲載回数 3回 成果:本人申請非発生率 99% データエラー非発生率 100% 改革・改善策 現状維持で継続していくが、制度については国の動向等を注視していく。				
具体的な事業	通園補助金交付金	実績:対象世帯 延べ218世帯 補助額 約903千円 成果:地理的条件により遠距離通園する家庭の支援が行えた。 改革・改善策 H26より、補助金の算出根拠をバス代からガソリン代に見直し、実態に即した補助を行っている。引き続き実施していく。				

<p>具体的な事業</p>	<p>私立幼稚園支援事業</p>	<p>実績:就園奨励費補助対象者 99人 第3子軽減対象者 16人 補助額約1,671万円          成果:受益者負担である授業料が所得に応じた負担となった。          改革・改善策          国の基準に基づき、引き続き実施していく。          第3子の多子軽減は、保育園、幼稚園の入所する施設を問わず、公平な補助を実施する。</p>
<p>具体的な事業</p>	<p>育英事業(奨学金制度)</p>	<p>実績:市民への周知 1回 高等学校・中学校への周知 1回 審査会の開催 1回          成果:奨学金(支給) 6人 奨学金(貸与) 0人          改革・改善策          貸与型の需要が減少している。返還のことを考えると利用しづらいかと思える。しばらく現在の方法で行い、希望者の動向を見る。</p>
<p>具体的な事業</p>	<p>遠距離通学児童・生徒通学支援事業</p>	<p>実績:周知回数 1回          成果:交付率 100%          改革・改善策          交付規定を改正したので、対象家庭に周知する。</p>
<p>具体的な事業</p>	<p>要保護・準要保護児童・生徒就学援助事業</p>	<p>実績:制度周知率 100%          成果:食費収納率 100%          改革・改善策          新年度は、申請時期を早める。</p>



基本目標5 “ひと”と“ひと”をつなぐ安全・安心な地域をつくる ～茅野市で暮らす～

数値目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
◆ 市内の区・自治会への入区率 (73% (H31))	70.5%	69.5%				
◆ 自主防災組織訓練参加世帯割合 (85% (H31))	74.4%	62.0%				
◆ 支え合いマップ・名簿等を利用した自主防災組織防災訓練の実施率 (100% (H31))	-	54.0%				

1 地域コミュニティ組織の充実に対する支援

(1) 区・自治会活動拠点の整備支援と活動活性化支援						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
活動拠点の整備支援件数(30件(5年間で))	6件	2件				
具体的な事業	実績:行政連絡事務委託案内及びHPの案内掲載 各1回 成果:施設整備事業及び小型除雪機購入補助金交付率 100% 改革・改善策 区・自治会等の中長期的な整備事業の要望について、毎年要望調査を行い把握に努める。 交付団体に偏りが出ないよう過去の実績を考慮した採択基準を検討していきたい。					
具体的な事業	実績:地区区長会開催要請回数 100回 成果:地区区長会開催回数 127回 改革・改善策 区・自治会への依頼事項については、引き続き全庁的な見直しを行い、区・自治会への負担軽減につなげる。また、所長会議や職員会議を活用し、地区コミュニティセンターとコミュニティ支援チームを繋ぎ、円滑な地域活動が行えるような状況を作る。					
(2) 区・自治会組織への加入率の向上に向けた支援						
◆ 重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H28	H29	H30	H31
各区・自治会の加入促進パンフレット作成件数(92件(5年間で))	8件	88件				
具体的な事業	実績:入区に関する実態調査件数 100件 成果:作成済み区・自治会数 88件 改革・改善策 茅野市災害に強い支え合いのまちづくり条例の推進を通じて未入区者と地域との関係構築から入区に結び付けたい。					
具体的な事業	実績:上記事業と同じ 成果:上記事業と同じ 改革・改善策 コミュニティだよりや、加入案内チラシ、区・自治会案内パンフレットなどを配布して情報発信を行い、地域の活動の必要性に気づいていただくようにする。また、自治会組織が形成されていない地域については、相談窓口の周知を行う。					

## 2 自主防災組織の育成と活動に対する支援

### (1) 自主防災組織の育成と活動に対する支援

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
自主防災組織防災訓練実施率(100%(H31))		91.5%	87.0%				
具体的な事業	交 自主防災組織活動支援事業	実績:自主防災組織訓練実施組織数 15組織					
		成果:自主防災組織訓練実施率 87.23%					
改革・改善策		地域防災力を向上させるため訓練、初動体制マニュアルの重要性を再度区長会等で説明し、理解を得る。 引き続き担当部局と調整する中で自主防災組織の活動支援を行う。					
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
(2) 消防団の育成と活動に対する支援 消防団員の定員に対する充足率(100%(H31))		97.9%	97.2%				
具体的な事業	交 消防団活動支援事業	実績:長靴支給(H24~26)、活動服貸与(H27)、防寒着貸与(H28)					
		成果:活動中の事故や怪我が減っている。					
改革・改善策		災害対応などの消防団活動が安全に実施できるように、服装の整備をしている。 消防団員の負担軽減のために、行事等の見直しをする。					

## 3 「福祉でまちづくり」の推進

### (1) 地域コミュニティにおける地域福祉の推進

◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
住民参加型有償サービスを実施している区・自治会数(10区・自治会(H31))		-	3区				
具体的な事業	地域福祉行動計画推進支援事業	実績:区・自治会での実践に係る会議開催目標達成率 5%~100%					
		成果:区・自治会での推進体制の構築数 100%					
改革・改善策		区・自治会の推進体制の整備。福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。 推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要。					
具体的な事業	住民参加型有償サービス支援事業	実績:シャララほっとサービス運営委員会・研修会の開催 4回					
		成果:シャララほっとサービス延べ利用回数 565回					
改革・改善策		地域で安心して生活するために、公的な福祉サービスとボランティア活動の中間的位置づけの住民参加型福祉サービスとして、茅野市社会福祉協議会でシャララほっとサービス事業を実施。協力会員研修会等により事業の充実を図っている。さらに、住民参加型サービスをはじめた区・自治会がでてきている。					
◆ 重要業績評価指標 (KPI)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
(2) 支え合いマップ作成に対する支援 区・自治会における支え合いマップ・名簿等の作成割合(100%(H31))		63.5%	72.0%				
具体的な事業	避難行動要支援者支援事業	実績:支え合いマップ作成地区数 72区・自治会					
		成果:支え合いマップ活用区自治会数 51区・自治会					
改革・改善策		名簿を使用した安否確認訓練の重要性を再度区長会等で説明し地域に合った訓練の実施をお願いしていく。					